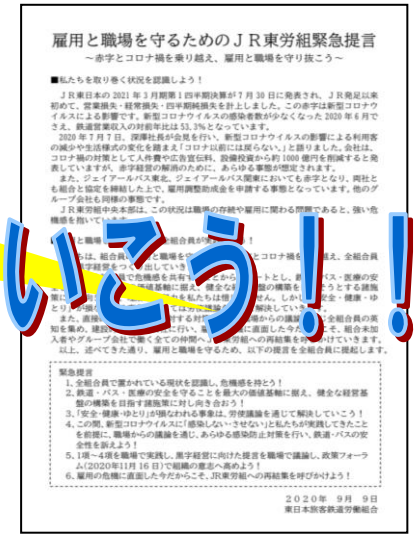
ＪＲ東労組盛岡

No,　３４
2020年　11月30日
東日本旅客鉄道
労働組合
盛岡地方本部

〒020-0045
盛岡市盛岡駅西通二丁目16番31号
発行人　佐々木克之
編集人　情　宣　部
NTT 019-623-1011 FAX 019-624-0157
JR 033-2238･2239 FAX 033-2230

赤字とコロナ禍を乗り越え、雇用と職場を守り抜くため、

黒字経営をつくり出していこう！！


雇用と職場を守るためのＪＲ東労組緊急提言
～赤字とコロナ禍を乗り越え、雇用と職場を守り抜こう～

■私たちを取り巻く状況を認識しよう！

ＪＲ東日本の2021年３月期第１四半期決算が７月30日に発表され、ＪＲ発足以来初めて、営業損失・経常損失・四半期純損失を計上しました。この赤字は新型コロナウイルスによる影響です。新型コロナウイルスの感染者数が少なくなった2020年６月でさえ、鉄道営業収入の対前年比は53.3%となっています。

2020年７月７日、深澤社長が会見を行い、新型コロナウイルスの影響による利用客の減少や生活様式の変化を踏まえ「コロナ以前には戻らない」と語りました。会社は、コロナ禍の対策として人件費や広告宣伝料、設備投資から約1000億円を削減すると発表していますが、赤字経営の解消のために、あらゆる事態が想定されます。

また、ジェイアールバス東北、ジェイアールバス関東においても赤字となり、両社とも組合と協定を締結した上で、雇用調整助成金を申請する事態となっています。他のグループ会社も同様の事態です。

ＪＲ東労組中央本部は、この状況は職場の存続や雇用に関わる問題であると、強い危機感を抱いて

緊急提言
1. 全組合員で置かれている現状を認識し、危機感を持とう！
2. 鉄道・バス・医療の安全を守ることを最大の価値基軸に据え、健全な経営基盤の構築を目指す議政策に対し向き合おう！
3. 「安全・健康・ゆとり」が損なわれる事象は、労使議論を通じて解決していこう！
4. この間、新型コロナウイルスに「感染しない・させない」と私たちが実践してきたことを前提に、職場からの議論を通じ、あらゆる感染防止対策を行い、鉄道・バスの安全性を訴えよう！
5. 1度～4度も職場で実践し、黒字経営に向けた提言を職場で議論し、政策フォーラム(2020年11月16日)で組織の意志へ高めよう！
6. 雇用の危機に直面した今だからこそ、ＪＲ東労組への再結集を呼びかけよう！

2020年　9月　9日
東日本旅客鉄道労働組合

今年に入ってから全世界に広がりを見せている新型コロナウイルスは、今もなお感染拡大が続いています。日本においても第３波をむかえているとも言われ、１日当たりの感染者数も過去最多を更新するなど、危機的状況が続いています。

新型コロナウイルスの影響は感染拡大だけではなく、日本の経済、ＪＲ東日本会社の経営にも大きな影響を与えており、１０月２８日に発表された２０２０年度の第２四半期決算では、単体で１９６９億円の損失を計上するなど、決算としては過去最低、営業損失・経常損失・四半期純損失を初めて計上しました。

ＪＲ東労組八戸支部が

ＪＲのコロナ対策を市民に広げる！

私たちＪＲ東労組はこのような状況を雇用の危機と捉え、「雇用と職場を守るためのＪＲ東労組緊急提言」を９月９日に発表しました。それ以降、多くの職場において黒字経営をつくり出すための職場議論が繰り返し行なわれ、多くのアイデアが出されました。八戸支部では「ＪＲのコロナ対策を広め、安心して列車を利用してもらう」そのような組合員の声を基に、マスク・手袋着用、アルコール消毒などコロナ感染対策も行いながら、コロナ対策をまとめたチラシを除菌シートと共に配布し、多くの市民のみなさまにコロナ対策を広めてきました。

ＪＲ東労組緊急提言の実現に向けて仲間と共にさらに進んでいこう！！